

Researcher profile

大学院医学系研究科(医学専攻)
脳神経外科学講座

助教 **河野 亜希子**

令和4年度AI研究デザインプロジェクト

AIと専門医で構築する 合理的臨床予測モデルの 作成

AI × 脳

研究内容

脳梗塞の一因である頸動脈狭窄症は、狭窄度が高度な場合に脳血流低下を生じる場合があります。脳血流を評価する方法として従来核医学検査が行われていますが、高額で侵襲的な検査であるため、より安価で侵襲のない検査である頸動脈エコー検査を用いて、脳血流低下の予測が可能であるかをAIを用いて検証するというものです。

研究の可能性

脳血流低下の予測は、頸動脈狭窄症の治療を行う際にも重要となる評価項目であり、より低侵襲な検査で予測が可能となれば、患者さんにとっても有意義なことであると考えます。エコー検査で得られた結果のどの項目が、脳血流低下予測に関与するのかを解析するのにAIは非常に有用であり、研究で良い結果が得られれば、我々の業務に関しても、より効率良く行うことができるようになるのではないかと期待しています。

研究の面白さ

AIのより詳しい仕組みについては、まだ私もわからないことばかりで、日々勉強中です。今回の研究に限らず、AIを活用した研究はどんどん進化している状況だと思っておりますので、そうした流れに少しでも関わっていることは光栄です。